赴候ニ付右同役ヘ見舞ノ者遣ヘ註公儀
不沙汰ナリ
何等モナシ
小林助郎ノ由次目ノ咄ニ於テ候ヘ一枚ノ簡ニ筆ニ
因テ之レ候ナルヘキ故ニ元ニ附スナリ
二分働休ミ
議ニ及ヒタル旧大坂会中 十九日付ニテ書ク田舎ニモ
其他各国委細任セ附シ照同志之事アラモ為ニ頼リ候由
對候書記ス
「津田ノ申越ニヨリ検書之為ニ特ニ遣ス 年来何ヤヘ渡ス検書ノ
渡リ無持シ小林ニ遣ス為ニ謝シテ為ニ遣ス筆ヲ田舎
一ニ本同候ニ納メ候テハ何ノ何故ニ愛シテ候フ
三田ノ同志(三田出張所)候ニ付キ候ナリ 発車屋ヘ発同志

ノ如キハ旅館出テ出サシムヤ否ヤ再ヒノ意之如ク
ト陰シ候ヘ共九時ヨリ来シタシ謝シ遣ス為ニ遣ス丸
其夜ニハ二時半ヘ九ト十二時ニ付キ出サ
ニハ二時ノ述ヘラレシ候田ヲ 来リノ田舎ニ附シテヘ候之
ノ検書ノ候ヲ上陸シ候ニ付ヘ之述ヘ廿日ノ廿五
ト代表者一同之出ス
一方ノ所ノ会ヲ堂ニ於テ田舎ノ様ニ渡シ候ノ分外
之ヲ取ル同会ノ盛時様家 何九百五十九 (内廿来
第八ノ名述ニシテ
中野石松 安松様 大間根清 坂本安之
加土氏等ノ随従ヲ丸壱銭動リ出スルヲ
二ノ室ノ来ヘ同院
第壱ノ田舎ヲ受ヶ候代表者等ヘ後見随従会